ふしぎなフーセンガム

「好き」を大切にする

2年　Y・Sさん

私は、工作や絵をかくことが好きです。大西じゅんくんも家であそぶことが好きなところがにているなと思いました。

リスからなりたいものになれるフーセンガムをもらったら、私はブラキオサウルスやキリンになって長い首に友だちを乗せて運んだり、すべり台のように遊んでほしいです。でも、じゅんくんは人間の女の子になりました。「男の子なのに」とか「男のくせに」と言われることが本当にいやでしかたなかったんだろうなと思うと、かわいそうな気持ちになります。山田みこちゃんは、女の子に変身したじゅんくんに、四つ葉のクローバーをくれたり、はじめて公園に来たと伝えたら、あんないしていろいろなことを教えてくれるやさしいところがありました。また、犬のうんこをかたづけなかった人におこるまっすぐなところがあって感心しました。

みこちゃんは、「女だから女らしくしろ」と言われたりするけれど、「あたしは、あたし」でいいと思うと言えることが、ゆう気があってかっこいいと思いました。私の周りにもちょっとらんぼうで苦手だなと思う子がいます。でも、もしかしたら、自分が決めつけているだけで、本当はやさしいところやすてきなところがあるかもしれないと思いました。私の学校の先生もよく「クラスのみんなのいいところを見つけましょう。」と言います。そのいみがこの本を読んでよくわかりました。じゅんくんは、「ぼくはぼくなんだ。」と自分らしさに気づきます。私もこれからは、自分の「好き」を大切にしていきたいです。そして周りの友だちの「好き」なものや大切にしていることを悪く言ったり、ばかにしたりしないで、みとめておうえんできる人になりたいです。そしたら、日本だけではなく、世界中の人たちとわかりあえて友だちになれるかもしれないと思い、わくわくしました。